

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①教科等横断的な視点に立ち、確かな学力と、生きる力を育む教育課程を編成する。 ②教育の情報化、ICTを活用した教授法の研究に組織的に取り組み、授業向上を推進する。	①新教育課程に即した形で本校の単元と指導の計画を整備し、旧課程の授業からの円滑な移行を行う。 ②主体的・対話的で深い学びの更なる実現に向けて、ICTを活用するとともに、指導と評価の改善に向け組織的な授業改善を継続する。	①旧教育課程から新教育課程へ移行する中で、教科や関係グループが中心となって、評価できる観点について、確認し実践していく。 ②ICTや1年次からの1人1台端末を効果的に活用するなどして、組織的な授業改善に努める。	①教科横断的な視点や学びの継続性を意識しながら、年間指導計画を示し、達成度や課題を、生徒の授業評価などから確認できたか。 ②ICTを活用した教授法の工夫やその他活動を通じて、生徒の学びの深まりが促進できたかを、生徒の授業評価などから確認できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒と保護者が安心して学校生活を営むよう、生徒一人一人に満足感と自己肯定感を醸成する取組を推進する。 ②「いのちの尊重に関する教育」を充実させ、社会性・自主性を育む取組を推進する。	①生徒が安心して学校生活を送れるように、実態を把握し、ニーズに合わせた支援を行う。 ②「いのちの尊重に関する教育」に取り組むため、自己肯定感を高め、他者理解を推進する活動を学校教育全体を通して実施する。	①面談、各種指導や支援、講演会など、安全啓発の教育活動を計画し実施する。 ②部活動、委員会活動では、教員も積極的に関わり、活動を活発化させることで、生徒の自己肯定感や他者を理解する心を育成する。	①面談、立番、巡回指導、服装頭髪指導などを計画的かつ組織的に継続できたか。 ②生徒の各種活動により、自己肯定感が育まれたり、他者理解が進むなどの心情の変化が、生徒の言動に表れるようになったか。					
3	進路指導・支援	①新入試制度や経済状況の変化に対応した進路指導を充実させる。 ②多様な進路希望の実現により自己肯定感を育み、社会的・職業的に自立できる人間を育成する。	①生徒一人ひとりのニーズに対応した進路支援を実現する。 ②生徒に、成人年齢引き下げや自らの進路について考えさせ、希望する進路の実現を図る。	①一人ひとりの生徒の進路実現に対応するため、「相談員制度」体制を構築する。 ②キャリアパスポートやガイダンス科目を利用し、3年間を見据えた進路支援体制を確立する。	①就職希望の生徒が、90%以上進路実現できたか。 ①自己理解や進路情報(費用を含む)提供のための支援を、全年次に適切に行えたか。 ②生徒に自らの進路について考えさせ、多様な力を積極的に身に付ける内容のガイダンス科目を計画的に開講できたか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	<p>①地域社会との交流を深め、協働態勢を構築し、信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②社会に開かれた教育課程の実現を目指す。</p>	<p>①②感染症対策を行って、地域社会との連携や協働の安全な実現を図る。</p> <p>②本校の魅力と特色を、中学生や保護者に分かりやすく伝え、入学志願につなげる。</p>	<p>①ボランティア活動など地域に貢献する活動を安全に実施する。</p> <p>①企業や地域と連携した取組により地域の教育力を活用する。</p> <p>②本校の魅力と特色、特に生徒の活動を、説明会やWeb広報により分かりやすく伝えていく。</p>	<p>①ボランティア委員会、部活動を中心に、生徒が自発的、積極的に地域に貢献できたか。</p> <p>①コンソーシアム等を活用し企業や地域と連携した授業の実践や、地域の行事と連携するなどにより、地域の教育力を活用できたか。</p> <p>②学校説明会の回数、時期、開催方法等を改善し、学校HPの内容を、適時に迅速に更新できたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①教職員一人ひとりが、不祥事を自らのことと認識し、生徒・保護者等から信頼される学校運営を行うとともに、教員の働き方改革を推進する。</p> <p>②生徒の安心安全な生活を守るため、災害対応力及び環境への意識を高める。</p>	<p>①常に自分ごととして不祥事を捉える意識を高めさせることで、不祥事ゼロを目指す。</p> <p>①働き方改革やワークライフバランスを推進する。</p> <p>②生徒の安心安全な生活を守るために、防災や環境問題に対する意識を高める教育を行う。</p>	<p>①不祥事防止会議で、本校に必要な研修等を企画し、未然防止につなげる。</p> <p>①勤務時間を常に意識し、業務改善・効率化について組織的に検討し、実行する。</p> <p>②より実践的な防災訓練やDIGを実施し、防災意識を高める。</p> <p>②身近な清掃活動や消毒等感染予防対策を通じて、身の回りの環境について考えさせる。</p>	<p>①不祥事防止会議では、本校でのヒヤリハット案件を取扱うなど、より具体的に不祥事を考察することで、自分ごととして捉えることができたか。</p> <p>①ノー残業デーを軸に、種々の場面で業務の効率化を推進できたか。</p> <p>②感染症対策を導入した防災訓練やDIGを行うことで、生徒の防災への意識は高まったか。</p> <p>②清掃活動・消毒等感染予防対策を通じて、身の回りの環境問題について、生徒の意識は高まったか。</p>					